

平成 28 年度の自己点検・自己評価
に対する学校関係者評価報告書

学校法人 赤門学院
専門学校 赤門自動車整備大学校

第三回 学校関係者評価報告書

設置者	学校法人 赤門学院															
学校名	専門学校 赤門自動車整備大学校															
会議名	第三回 学校関係者評価委員会															
開催日時	平成29年10月12日(木) 14:00～15:20															
場所	宮城県仙台市青葉区川内川前丁61 専門学校赤門自動車整備大学校 3階会議室															
出席者	<p><学校関係者評価委員></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">阿部勝自動車工業株式会社</td> <td>取締役営業部長 阿部 勝敏</td> </tr> <tr> <td>株式会社 赤門自動車学校</td> <td>専務取締役 國分 直人</td> </tr> <tr> <td>専門学校 赤門自動車整備大学校</td> <td>理事長・校長 國分 活妙</td> </tr> <tr> <td>専門学校 赤門自動車整備大学校</td> <td>全科教務指導長 福原 祥之</td> </tr> <tr> <td>専門学校 赤門自動車整備大学校</td> <td>広報室長 初田 雄二</td> </tr> <tr> <td>専門学校 赤門自動車整備大学校</td> <td>事務長 石川 良昭</td> </tr> </table> <p>※出席者:6名 欠席者:0名</p> <p><その他></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">専門学校 赤門自動車整備大学校</td> <td>職員 小原 禎司</td> </tr> </table>		阿部勝自動車工業株式会社	取締役営業部長 阿部 勝敏	株式会社 赤門自動車学校	専務取締役 國分 直人	専門学校 赤門自動車整備大学校	理事長・校長 國分 活妙	専門学校 赤門自動車整備大学校	全科教務指導長 福原 祥之	専門学校 赤門自動車整備大学校	広報室長 初田 雄二	専門学校 赤門自動車整備大学校	事務長 石川 良昭	専門学校 赤門自動車整備大学校	職員 小原 禎司
阿部勝自動車工業株式会社	取締役営業部長 阿部 勝敏															
株式会社 赤門自動車学校	専務取締役 國分 直人															
専門学校 赤門自動車整備大学校	理事長・校長 國分 活妙															
専門学校 赤門自動車整備大学校	全科教務指導長 福原 祥之															
専門学校 赤門自動車整備大学校	広報室長 初田 雄二															
専門学校 赤門自動車整備大学校	事務長 石川 良昭															
専門学校 赤門自動車整備大学校	職員 小原 禎司															
会議内容	<p><次第></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会および理事長挨拶 2. 委員紹介 3. 自己評価の結果について説明 4. 自己評価の結果について審議 5. 閉会 <p><審議内容について></p> <ol style="list-style-type: none"> (1)教育理念・目標 学校の大きな特徴となりうる、「電気自動車の研究」との連携強化を推し進める。 (2)学校運営 自己評価、課題、改善方策については妥当。 (3)教育活動 自己評価、課題、改善方策については妥当。 (4)学習成果 平成28年度の2級自動車整備士科において、国家試験2種目(2級ガソリン、2級ジーゼル自動車整備士)全員合格を達成することができたので、入学を検討している学生、親等に対して、その点を強くアピールしていくことも必要。 (5)学生支援 就職担当やクラス担任の他、教科担当の先生とも連携をし就職率100%を目指す。 (6)教育環境 自己評価、課題、改善方策については妥当。 (7)学生の受入れ募集 外国語学校との繋がりは強化されてきたので、更なる留学生確保に繋げる。 (8)財務 中長期的視点に基づく予算により、今後の学生数の増加に直結する支出を優先的に行っていく。 (9)法令等の遵守 自己評価、課題、改善方策については妥当。 (10)社会貢献・地域貢献 中学生の職場体験受け入れ事業所として、業界への貢献をしているので、今後も継続していく。 															

(11)その他

平成28年度の自己評価の結果の内容とは異なるが、平成29年度に当校に外国人留学生が27名入学しており、外国人留学生への対応について以下のような内容で審議された。

- ・授業について、当校では日本人と外国人留学生はクラス分けしている。日本人と外国人留学生では、授業の理解度、進捗状況が違って来るためである。但し、外国人留学生のクラスでも、授業は日本語で説明している。(最終的に自動車整備の国家試験に合格してもらいたため)それと、座学のクラスは別にしてはいるが、実習では日本人と外国人留学生が一緒に行っている。その際に、日本語の会話の理解や交流をすすめたいと考えている。
- ・外国人留学生の就職に関して、学校側から企業側に働きかけていくことも必要である。
- ・外部側の委員の意見として、企業側では近年外国人技能実習生や留学生等を自動車整備士として雇う動きが出てきているとのことであった。

以上